

9条「このまま」2人と2党！

参院選「憲法9条」アンケート

7月の参院選を迎えるにあたり、衆参同時選の可能性も浮かび上がっていたことから、埼玉選挙区に立候補を表明している7名と埼玉10区の2名、比例区に候補者を擁立する全政党（政治団体）に、「憲法9条」アンケートを行ないました。

埼玉選挙区では7名中2名から、埼玉10区では全員から、比例区に候補者を擁立している政党（政治団体）では9党中2党から回答が寄せられました。回答結果と「9条へのひとつこと」を紹介します（50音順）

「9条はこのままでよい」候補者（2）

- **伊藤 岳（日本共産党）** 憲法9条は、憲法前文とともに「三大原則の1つ」である「平和主義」を規定しています。この条文だけで憲法の「戦争放棄」を構成しています。

憲法9条は第1項である「戦争放棄」、第2項前段で、「戦力の不保持」、後段で「交戦権の否認」を規定しています。

この憲法9条には、戦前の侵略戦争の加害と、東京大空襲や原爆などの被害という両面で痛苦的な経験を背負って、「二度と戦争は起こさない」という国民の固い決意と強い願いが込められています。

私たちの日常生活のすみずみまで、憲法9条を生かすことが、今ほど求められている時はないと思っています。この9条の精神をこわそうとする9条改悪は絶対に許せません。

- **坂本祐之輔（立憲民主党）** 専守防衛を旨とする平和主義をうたっている憲法9条を守っていく。

「9条は変えたほうがよい」候補者（1）

- **山口泰明（自民党）** 憲法制定以来、憲法の理念のもと日本が一貫して平和国家として歩んできたことに誇りを持っています。

自民党は「現行憲法の自主的改正」は結党以来の党是であり、国民の幅広い理解を得るため、党内での議論を更に活発に進めていくべきと考えます。

憲法の3つの基本原理（国民主権、基本的人権の尊重、平和主義）は堅持し、「自衛隊の明記」「緊急事態対応」、9条とは関連しませんが、「合区解消、地方公共団体」「教育の充実」などの内容で憲法改

正の議論を進めていくことが必要です。

「その他」の候補者（1）

- **矢倉克夫（公明党）** 公明党は施行から満72年となる日本国憲法を、戦後日本に民主主義を定着させ、わが国が平和国家として世界から信頼され、国際社会に貢献できる基盤をつくった優れた憲法として高く評価しています。特に国民主権、基本的人権の尊重、恒久平和主義の3原理は、「人類普遍の原理」というべきものであり、将来にわたって変えるべきではありません。

いま多くの国民は現在の自衛隊の活動を理解し支持しており、違憲の存在とは考えておりません。したがって、自衛隊の存在を明記するとの意見については賛成しかねます。

「無回答」の候補者（5）

- 熊谷裕人（立憲民主党）、小島一郎（幸福実現党）、宍戸千絵（国民民主党）、古川俊治（自民党）、沢田良（日本維新の会）

「9条はこのままでよい」政党（2）

- **社民党** 平和憲法の根幹である9条を守り、活かすべきであると考えます。
- **日本共産党** 憲法9条によって自衛隊は一人の戦死者も出さず、一人の外国の兵士の命を奪うこともありませんでした。9条は世界に誇る日本の宝です。

「無回答」の政党（7）

- 国民民主党、幸福実現党、公明党、自民党、日本維新の会、立憲民主党、れいわ新選組

【14周年のつどい】

知ってますか？埼玉の基地問題

6月9日（日）、坂戸駅前集会施設を会場に開催した「九条の会さかど14周年のつどい」では、「知ってますか？埼玉の基地問題 入間・所沢、そして沖縄」と題して、所沢・入間・川越から運動を担っている方々をお迎えし、9条や平和への思いを語り合いました。

今回のつどいには、東京の品川から参加した方もいるなど、30人以上の皆さまがお集まりになりました。10,570円のカンパも寄せられました。ありがとうございました。

戦後74年 平和を心に刻む

九条の会さかど 戦争を語り継ぐ会

8月4日（日）13時30分～16時 坂戸駅前集会施設2階

絵馬『世界の平和 N・S』母の想いを受けとめながら

（泉町 戸来淑子さん）、平和紙芝居

ヒロシマ市民の描いた原爆絵画展

8月24日（土）11時00分～19時 坂戸市文化施設オルモ2階

8月25日（日）9時30分～18時 坂戸市文化施設オルモ2階

原爆絵画展坂戸・鶴ヶ島地区実行委員会（049-289-2527 武井）

入間市の軍都化？

元町 新井竹子

九条の会さかどが14周年を迎えての「つどい」を6月9日に行なった。今回は入間・所沢・沖縄辺野古の基地問題を学ぶということで、その地にかかわって活動されている方3人に参加していただいて、まず、その方たちに語ってもらうことから始めた。

3方とも活動に心を込めておられることがひしひしと伝わり感動だった。各地にこういった方たちがいて、運動が進められていることは、昔むかしにはなかったことであり、さすが21世紀ということになるだろう。

しかし、これは限られた人たちである。こういう人になるためには、どんな育ちや学びがあったのだろうか。憲法・教育基本法の確かな実践の中で育ったのだろうか。そうだとするならば、もっと多くの人たちがこのような人に育つはずではないだろうか。

こういう人たちがまだ少ないのは、憲法が示している「主権在民」の教育も、充分にはなされていないのではないかと思ってしまう。

立派な論理があったとしても、教育は生の人間がやることで、憲法・教育基本法どおりにはなかなかできないものである。

今回、おいでいただいた3人の方は、学校教育ばかりでなく、このように育つための何か強い事柄があったのではないかと思われる。運動に関わる人を増やすためには、このことについての学習もしたらいいのではないだろうか。

沖縄の若者たちは、沖縄の願いが踏みにじられ続けてきた中で、今、急速に変化してきて、あの住民投票に、その姿が現れた。

こういう実態をみると、沖縄ではないところに住んでいる人たちは、のほほんとしていると言えるのではないか。

今こそ、沖縄辺野古問題を私たちの問題ととらえることができなかったならば、日本全体が沖縄化してしまうかもしれない。

ぼんやりしている間に、入間市の軍都化も始まっていると言うのではないか。

天皇をありがたがって、政治を自公に任せていたら、たちまち日本は戦争をする国になってしまうでしょう。とにかく、選挙をがんばらねばね。

入間も辺野古もその一環

所沢平和委員会 代表 大山茂樹

今回は、坂戸九条の会にお招き頂きましてありがとうございました。所沢基地への土砂搬入が大きな問題となっているところに、県内の他の地域の方々からも関心と連帯の意見があり、勇気をいただきました。

昨日(6月11日)埼玉県の基地問題を担当している部局の方との話し合いに出席しました。県の基地対策協議会も北関東防衛局に対して、土砂の安全性、環境へ

の配慮、県条例を含む国内法令の遵守、地元自治体、住民に対する丁寧な説明を求めているとのことでした。

しかし、いまだ北関東防衛局からの回答はありません。再度、実効性のある要望をあげてほしいと要請しました。防衛省は、米軍言いなりです。この背景には、安倍政権の自衛隊が米軍と一体となって海外での戦争ができるようする動きがあります。



入間基地の自衛隊病院建設、災害拠点の整備、辺野古の新基地建設もその一環であることが今回の学習でよく分かりました。やるべきことははっきりしました。

九条改憲阻止、安倍政権の打倒、安保条約の廃棄、独立・中立の日本に。道は一本です。

連携した取り組みを！

ストップ入間基地拡張を！市民の会
共同代表 小川満世

集会に招いていただき、ありがとうございます。入間基地拡張問題に少しでも関心を持っていただければ幸いです。

埼玉県には7カ所基地があり、防衛医大を含めれば8カ所に及びます。しかし、連携した取り組みは少なく、それぞれ各地域ごとに取り組みされており、連携した交流と取り組みの必要性を痛感しております。

入間基地拡張ストップの闘いに、この「つどい」を契機に協力をお願いいたします。

14周年のつどいの感想から(1)

◆ 東京の品川から今回初めて参加させていただきました。入間基地の問題、沖縄の米軍基地の問題など、大変勉強になりました。

今までこうした集会には殆んど顔を出すことはありませんでしたが、これからはできる限り、九条の会の活動を中心に積極的に参加していきたいと思っています。(菊地)

◆ 本日三つの地区の方からの厳しい現地の報告をありがとうございました。もっと勉強していきたいと思いました。

今後の運営委員会(会員なら誰でも参加できます)

7月25日、8月22日、9月26日(第4木曜日10時~12時)
会場は坂戸市役所に隣接した勤労女性センター談話室